

かみくげ 恐竜の里新聞

平成二十二年二月二五日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第10号

上久下
地域づくり
センター
0795 78 0001

丹波竜化石 第三次発掘調査の状況

丹波竜化石発掘は十数名のボランティアが連日参加して調査を続けています。これまでの調査で数点の肋骨化石のほか、大小多くの歯（鳥脚類や竜脚類、獣脚類）が見つかっています。肋骨や歯が過去2回の発掘でも数多く見つかったことから、人と自然の博物館ではマスコミ向けに積極的に公表していませんが、価値ある発見であることには間違いありません。

2次発掘までのまとまった部位の発見とは異なり、3次発掘では目指す脚や首の発見までには至らず、部位がかなり広範囲に散在して見つかったり、鳥脚類の歯も見つかったりすることから、肉食恐竜の他、鳥脚類までもが多く丹波竜に群がったのではないかと、その結果、首や脚が周辺に散らばり、肉食恐竜や鳥脚類が歯を落としていったのではないかと推測されます。

調査は2月末（もしくは3月初旬）で終了しますが、4次発掘につながる他の部位の発見にも期待が持たれています。



差し入れのトン汁で温まる研究員とボランティアの方々



発掘状況をマスコミ発表する三枝研究員



アドレスは、<http://kamikuge.com/>です

かみくげドットコム 地域の魅力を配信します

かみくげ恐竜の里づくり協議会では、上久下地域を全国に配信しようと、独自のホームページの作成を進めていましたが、去る二月一八日に試作版が公開されました。

ホームページのタイトルは「丹波竜の里かみくげ」。この「恐竜の里新聞」も、ホームページ上で読むことができ、地域のニュースのほか、上久下の見どころや観光スポット、ハイキングコースの紹介、各集落のよこがの紹介、イベントの案内など、恐竜化石だけではない上久下の魅力を全国に伝えていきます。

ホームページは今後、上久下地域内の皆さんの交流や地域外の方々との交流の場として活用したいと考えています。ご要望などありましたら、地域づくりセンターまでお寄せください。

地域づくりセンター西棟 改装工事終わる

県民交流広場事業で着工していた地域づくりセンター西側別棟の改装工事が終了しました。

従来の暗くて、雑然とした部屋は一変して、明るく、清潔な部屋（6×6メートル）に生まれ変わりました。内部には手づくりのテーブルや棚も設け、冷暖房設備も完備しています。書庫兼憩いの場、小会議室として広く地域の方に利用していただけます。



生まれ変わった西棟内部のようす

3月の予定

- ◆三月一〇日（火） 13:30 有機野菜づくり講習会（地域づくりセンター）普及センターから講師がこられます。ご興味のある方はぜひ。
- ◆三月一四日（土） 19:30 里づくり協議会定例会
- ◆三月二〇日（祭） 9:00 ソバ打ち体験教室（地域づくりセンター）申し込み不要。ソバの試食だけご希望の方もどうぞ。篠場産ソバです。
- ◆三月二〇日 19:30 自治会長会
- ◆三月二八日（土） 恐竜列車ちーたん号運転（下滝駅から京都へ）

われらが里の元気人 見つけた！ 6

門脇峰子さん
(九二歳・太田)



門脇さんは大正6年1月生まれで満九二歳の誕生日を迎えられたところで、七人の子供さんに二〇人を超すお孫さん、それにひ孫にも恵まれて元気に過ごされています。

地域のお付き合いもよくされ、句会をはじめ、ご詠歌、編み物、音楽鑑賞と広く趣味を持たれ、昔には苦痛に感じた広い屋敷内の草ひきも、今では趣味として楽しんでおられます。時には子供さん宅に向いて数日を過ごされるのも楽しみにされているようです。

趣味の句会は昭和四〇年に太田・慧日寺で二〇名の会員でスタートし、その後昭和四六年に集落外からの会員も加えて下滝・微妙寺で「松風句会」として引き継がれ、今日の地域づくりセンターで

のクラブ活動へと歴史を刻んできています。その中で門脇さんは当初から参加されており、延べ四四年になります。月一回の定例会にも元気に地域づくりセンターに顔を出されています。

門脇さんは「私はここに嫁に来るその日までこの寺を見たことがなかったのですよ。夜に嫁入りして、暗がり初めて寺を見ました」と今では想像できないようなエピソードも披露してもらいました。これからお元気で趣味を楽しんで下さいとお別れました。

うちの集落 手前味噌！ シリーズ① 篠場



農業の担い手がどんどん減り、どこの集落でも休耕田や放棄田が増えていきます。篠場では、少しでも荒れていく農地を保全しようと、平成二〇年から休耕田を利用してソバの栽培をはじめました。

栽培品目にソバを選んだのは、
①夏の種まきと秋の刈り取り以外ほとんど放ったらかしのままでよく、普段の手間がかからない。

②収穫のあと、ソバ打ちや試食など、みんなで参加できる楽しみがある。というような理由とのことです。

種まきや刈り取りの作業は公民館が中心となり、集落内の若い人たちのボランティアで行いました。一二月には収穫感謝祭(新ソバの試食会)を行います。みんな汗を流して収穫し、自分たちで打ったソバの味はまた、格別です。

ソバ打ちの経験者は誰ひとりいなかった。最初は解説書をたよりに悪戦苦闘されたそうです。しかし何回か経験を重ねる内に、みんなだいたい上手になったということでした。

安全安心の野菜・加工品 参加者募集

「かみくげ」から安全・安心の野菜や農産加工品をつくらせて元気な地域を発信しよう！

地域で低農薬・有機の野菜づくりをやっているのは小谷敏男さん(青田)と西田幸男さん(阿草・現農業委員)。

老若男女は問いません、農地のない方も一緒にやりませんか？。時間に余裕のある方、野菜づくりに興味をお持ちの方、漬物・干物に経験のある方、ない方...どなたでもお待ちしています。

お申し込み・お問い合わせは小谷さんか西田さん。または、上久下地域づくりセンター(78・0001)まで。

荒廃農地を再生 竹やぶの伐採作業

上久下東農地・水・環境全対策活動の会(吉竹寛二代表)では、上滝発電所跡対岸の阿草の竹やぶ化した遊休農地を再生するため、草刈りや竹やぶの伐採に会員二〇名が2日間汗を流しました。

これによって、将来の丹波竜の里散策道整備の際のルート確保や篠山川景観の展望場所としての位置づけができました。

伐採したあとの竹のすき間から見える発電所の建物、発掘現場付近の河床の景観はすばらしく、観光資源がひとつ増えました。散歩で通行される人は一度立ち寄って確かめてください。

